

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月23日 (第1回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	玄海町 (413879)
地域名 (地域内農業集落名)	牟形 (牟形)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	150 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	150 h a
② 田の面積	55.3 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	115.5 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	h a
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・地区内は中山間地域であり、水稻を中心として野菜（いちご、たまねぎ）や果樹（ハウスみかん）、飼料作物等を耕作している。
- ・担い手が不足しており、農地の保全管理もできなくなることが想定されるため、棚田保全組合を中心として農用地や農道の維持を続けていく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・今後も水田を維持管理しながら、野菜や果樹、飼料作物等を中心に栽培していく。
- ・認定農業者を中心に集積・集約化に取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手へ農用地の集積・集約化を図りながら効率的に農地を利用していく。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	19 %	将来の目標とする集積率	19 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
担い手を中心に集約化を進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
認定農業者等の担い手を中心となり農用地の集積・集約化に努める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
将来の経営農地の集約化を目指し、出して・受け手に関わらず、中間管理機構への農地の貸付けを進めていく。
(3) 基盤整備事業への取組
農用地の集積・集約を促進するため、地域の要望や必要性に応じて、圃場整備を視野に基盤整備事業に関する補助事業の活用や地域住民との協議等の実施を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
認定農業者のみならず、小規模農家も含め農地の担い手となる農業者への支援に努める。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
草刈等の農地管理をシルバー人材センターに委託することを検討し、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策については、補助事業を活用し計画的に防護柵等を設置し、適切な管理に努める。 ・中山間地域等直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業等を活用し、農道や水路等の保土管理の取り組みを進める。 				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	認定農業者1	水稲・果樹	0.9 ha	0 ha	水稲・果樹	0.9 ha	0 ha	認定農業者1	
認農	認定農業者2	水稲・果樹	1.9 ha	0 ha	水稲・果樹	1.9 ha	0 ha	認定農業者2	
認農	認定農業者3	水稲・果樹	2.1 ha	0 ha	水稲・果樹	2.1 ha	0 ha	認定農業者3	
認農	認定農業者4	飼料作物	5.3 ha	0 ha	飼料作物	5.3 ha	0 ha	認定農業者4	
認農	認定農業者5	水稲・果樹	5.6 ha	0 ha	水稲・果樹	5.6 ha	0 ha	認定農業者5	
認農	認定農業者6	水稲・果樹	6 ha	0 ha	水稲・果樹	6 ha	0 ha	認定農業者6	
認農	認定農業者7	水稲・施設野菜	0.3 ha	0 ha	水稲・施設野菜	0.3 ha	0 ha	認定農業者7	
認農	認定農業者8	水稲・露地野菜	0.1 ha	0 ha	水稲・露地野菜	0.1 ha	0 ha	認定農業者8	
認農	認定農業者9	水稲・果樹	6.7 ha	0 ha	水稲・果樹	6.7 ha	0 ha	認定農業者9	
認農	認定農業者10	肉用牛	0.4 ha	0 ha	肉用牛	0.4 ha	0 ha	認定農業者9	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	10経営体		29.27 ha	0 ha		29.27 ha	0 ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

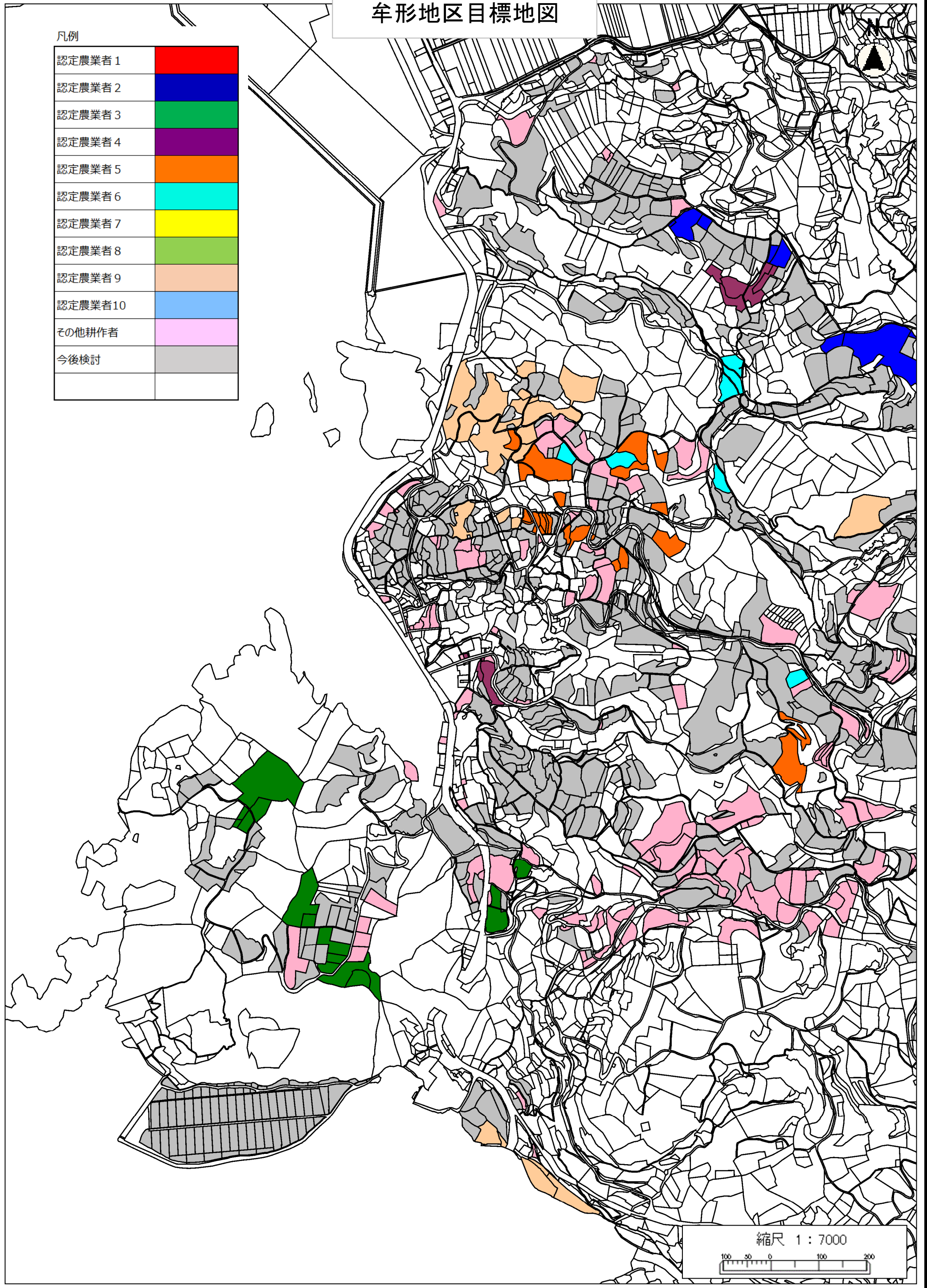
4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

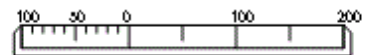
牟形地区目標地図

凡例

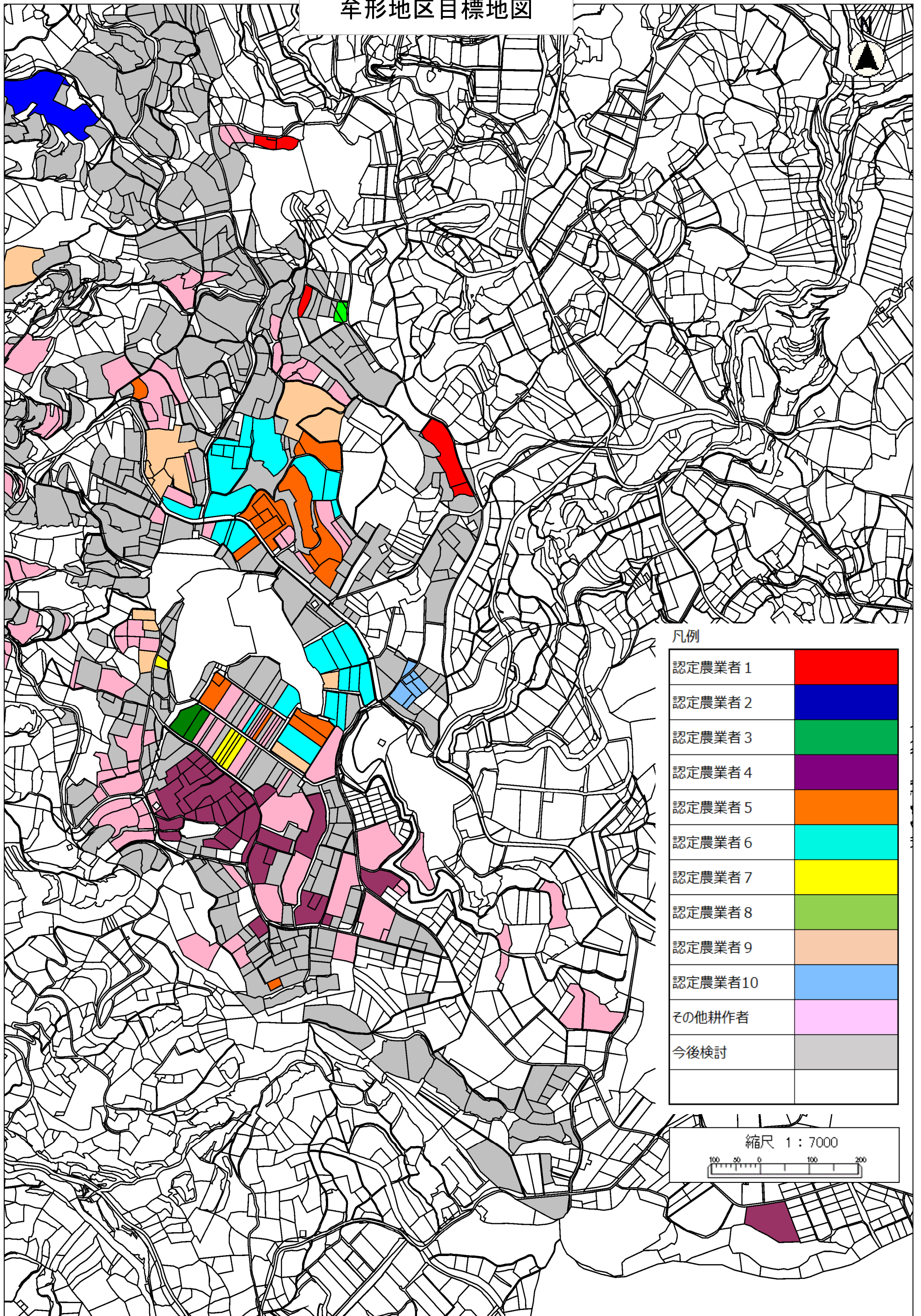
認定農業者 1	Red
認定農業者 2	Blue
認定農業者 3	Green
認定農業者 4	Purple
認定農業者 5	Orange
認定農業者 6	Cyan
認定農業者 7	Yellow
認定農業者 8	Light Green
認定農業者 9	Light Orange
認定農業者 10	Light Blue
その他耕作者	Pink
今後検討	Grey



縮尺 1 : 7000



车形地区目標地図



凡例

認定農業者 1	
認定農業者 2	
認定農業者 3	
認定農業者 4	
認定農業者 5	
認定農業者 6	
認定農業者 7	
認定農業者 8	
認定農業者 9	
認定農業者 10	
その他耕作者	
今後検討	

縮尺 1 : 7000

